

文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	福岡県	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	福岡県の文化遺産を活かした地域活性化事業		
4 実施計画期間	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度		
5 実施計画の概要			
1. 「ふくおか文化遺産ウィーク事業」について 九州と本州をつなぐ基点となり、また朝鮮半島や中国大陆との交流拠点であった福岡県は、古代から連綿と続く豊かな文化財を数多く残している。現在、国指定文化財が318件、県指定文化財が677件を数え、史跡大宰府政庁跡を中心とする大宰府一帯に広がる大規模史跡、観世音寺や太宰府天満宮、宗像大社などの社寺に継承される美術工芸品、「海の正倉院」沖ノ島から出土した考古資料をはじめ、絢爛豪華に飾られた山笠などの山車風流や風流踊り、神楽や獅子舞、盆踊り、八幡古表神社の神相撲や瀬高天満宮の幸若舞など中世の古態を伝える無形民族文化財など、貴重な有形・無形の文化遺産を継承している。 こうしたなか、平成27年には「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」が、ユネスコ世界文化遺産の国内推薦候補に選ばれたとともに、イコモス（国際記念物遺跡会議）設立50周年を記念したイコモス年次会合が10月に福岡市にて開催された。当委員会では、これを契機に、豊かな福岡県の有形・無形の文化遺産の価値を県民に広く普及することを趣旨に、平成29年度までの3ヵ年計画で「ふくおか文化遺産ウィーク事業」を進めている。 平成27年度にはイコモスの年次会合に連携し、福岡市において福岡県の有形・無形の文化遺産を紹介するパネル展や、多様な福岡県の伝統芸能の魅力を一堂に紹介するフェスティバルなどを開催。平成28年度は世界文化遺産の国内推薦候補となった「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」の一層の県民への周知と理解の促進を意図し、宗像市において「宗像・沖ノ島～芸能の始源に誘う」をテーマに、海を介した人々の交流から萌芽した芸能文化について語るシンポジウムと伝統芸能によるフェスティバルを開催した。平成29年度は、本事業計画内「ふくおか文化遺産ウィーク事業」の最終年として、「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」の世界遺産登録を記念し、福岡県の伝統芸能を代表する「神楽」を中心に「ふくおか無形文化遺産フェスティバル」を宗像市にて実施する。 2. 京築地域「文化の力」による地域活性化プロジェクトについて 京築地域の無形民俗文化財である神楽の保存・継承を図るとともに、神楽や等覚寺の松会などの文化財を地域活性化の資源として捉え、地域振興や観光振興に活用する。また、地域内外の方に五穀豊穡を祈願するなど人々の暮らしと密接な芸能である神楽の文化的価値について再認識してもらう。 以上を実現するために、神楽観賞の機会を提供するPR公演のほか、京築地域の国重要無形民俗文化財を紹介したパンフレットの作成等を行う。			
6 実施体制			
本実施計画に係る企画及び調整は以下が担当し、実施する。 ○文化振興課世界遺産登録室：ふくおか文化遺産ウィーク事業に関する調整等 ○広域地域振興課：京築地域「文化の力」による地域活性化プロジェクトに関する調整等 事業実施については、以下の団体が実施する。 ○福岡県の文化遺産を活かした地域活性化事業実行委員会 （ふくおか文化遺産ウィーク事業実行委員会、神楽の里づくり推進協議会）			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成29年度交付決定額： 10,326 千円	平成30年度申請額： 5,039 千円
(2) 実施事業の概要		別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
1. 「ふくおか文化遺産ウィーク事業」について (1)世界遺産に登録が期待された「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」については、県及び関係各市や民間団体等が各種普及啓発活動を進めているなか、本事業もまた県民への周知と文化遺産に対する理解の促進に貢献するとともに、県民一人一人による文化財の保存継承に対する機運や意識の醸成は、登録後の県民による保全・活用の運動において大きな原動力となることが期待できる。 (2)県民が地域に継承される文化財や地域固有の歴史や伝統に親しむことにより、多様性と独自性にあふれた福岡県の有形・無形の文化遺産の魅力を再発見し、文化遺産ならびに文化財継承に対する意識の高揚を図る大きな機会となることが期待できる。 2. 京築地域「文化の力」による地域活性化プロジェクトについて (1)京築地域の無形民俗文化財である神楽に対する関心を持ってもらうことで、文化財としての価値の重要性について再認識してもらえることが期待できる。 (2)神楽を地域・観光振興の資源とし、域外からの観光客増加に繋げられることが期待できる。			

10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）	
事業概要：	
事業概要：	
事業概要：	
11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等	
12 担当部局	
地方公共団体 担当部局課	福岡県人づくり・県民生活部文化振興課

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1：	(ふくおか文化遺産ウィーク事業) 地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 1：	地域の文化遺産への来場者数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 1：	「海の道むなかた館」への来場者数			関連事業：	②	
目標値 1：	平成 28 年度 160,000 人 ⇒ 平成 33 年度 167,500 人					
設定根拠 1：	文化遺産の知名度を高めることにより、文化遺産の展示等を行う施設の来館者数を増加させる					
進捗状況 1：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	
目標区分 2：	(京築地域「文化の力」による地域活性化プロジェクト) 地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 2：	地域の祭礼行事等への入込客数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 2：	京築地域への観光入込客数			関連事業：	①③④	
目標値 2：	平成 28 年度 6,300 千人 ⇒ 平成 33 年度 6,820 千人					
設定根拠 2：	過去10箇年の京築地域への観光入込客数の対前年度比の平均値+1.6%を参考に、毎年度の伸び率を1.6%増に設定					
進捗状況 2：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
千人	千人	千人	千人	千人	千人	
目標区分 3：	(京築地域「文化の力」による地域活性化プロジェクト) 地域の文化資源を核としたコミュニティの再生・活性化					
評価指標区分 3：	その他 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 3：	地元神社で神楽が奉納される回数			関連事業：	①③④	
目標値 3：	平成 28 年度 172 回 ⇒ 平成 33 年度 172 回					
設定根拠 3：	全国的に神楽が減少するなか、現行の奉納回数の回数維持を目標とする					
進捗状況 3：	kI					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
回	回	回	回	回	回	
目標区分 4：	(京築地域「文化の力」による地域活性化プロジェクト) 伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 4：	祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 4：	京築地域の神楽団体数			関連事業：	①③④	
目標値 4：	平成 28 年度 31 団体 ⇒ 平成 33 年度 31 団体					
設定根拠 4：	全国的に神楽が減少するなか、現行の神楽団体数の維持を目標とする					
進捗状況 4：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
31 団体	団体	団体	団体	団体	団体	
#DIV/0!						

8（2）実施事業の概要 別紙

事業②：		ふくおか文化遺産ウィーク事業				実施団体：		ふくおか文化遺産ウィーク事業実行委員会			
事業区分：		普及啓発				事業期間：		平成 29 年度 ～ 平成 29 年度			
事業概要：		「記紀神話」をテーマに、本年に国の無形民俗文化財に指定された豊前神楽をはじめ、日本を代表する神楽王国である福岡県の神楽の上演を核に、記紀神話の朗読など古典に親しむプログラムを交えた普及啓発事業を開催し、「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」の一層の県民への周知と文化遺産に対する理解の促進を図る。									
評価指標区分：		・保存会への新規入会者数						(具体的な指標は次のとおり)			
具体的な指標：		・伝統芸能保存会の新規入会数 豊前神楽の国指定無形民俗文化財指定や「宗像・沖ノ島と関連遺産群」のユネスコ世界遺産の国内推薦候補決定を背景に、本事業を核に多くの県民が有形・無形の文化遺産に関心を抱くことが期待され、伝統芸能保存会の新規入会者の増加を目標に事業を推進する。									
目標値：		平成 28 年度 0 人				⇒		平成 33 年度 50 人			
進捗状況：		各年度、状況値、目標に対する達成率									
平成 29 年度		平成 30 年度		平成 31 年度		平成 32 年度		平成 33 年度		平成 34 年度	
人		人		人		人		人		人	
事業③：		京築神楽PR公演				実施団体：		神楽の里づくり推進協議会			
事業区分：		普及啓発				事業期間：		平成 29 年度 ～ 平成 33 年度			
事業概要：		京築地域の伝統文化である「京築神楽」を広く地域内外にPRする機会として開催するもの。主な対象は、北九州・福岡都市圏や近隣の県に在住の方々のうち、普段、神楽に馴染みのない方を対象に、京築地域の神楽を知る啓発の機会として、以下の公演を実施するもの。 【開催公演：北九州芸術劇場公演、九州国立博物館公演、京築神楽伝統文化会館公演】									
評価指標区分：		・その他						(具体的な指標は次のとおり)			
具体的な指標：		京築地域への観光入込客数									
目標値：		平成 28 年度 6,300 千人				⇒		平成 33 年度 6,820 千人			
進捗状況：		各年度、状況値、目標に対する達成率									
平成 29 年度		平成 30 年度		平成 31 年度		平成 32 年度		平成 33 年度		平成 34 年度	
千人		千人		千人		千人		千人		千人	

評価指標区分：	・その他					(具体的な指標は次のとおり)	
具体的な指標：	地元神社で神楽が奉納される回数						
目標値：	平成 28 年度		172 回		⇒	平成 33 年度 172 回	
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率						
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度		
回	回	回	回	回	回	回	
評価指標区分：	・その他					(具体的な指標は次のとおり)	
具体的な指標：	京築地域の神楽団体数						
目標値：	平成 28 年度		31 団体		⇒	平成 33 年度 31 団体	
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率						
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度		
団体	団体	団体	団体	団体	団体	団体	